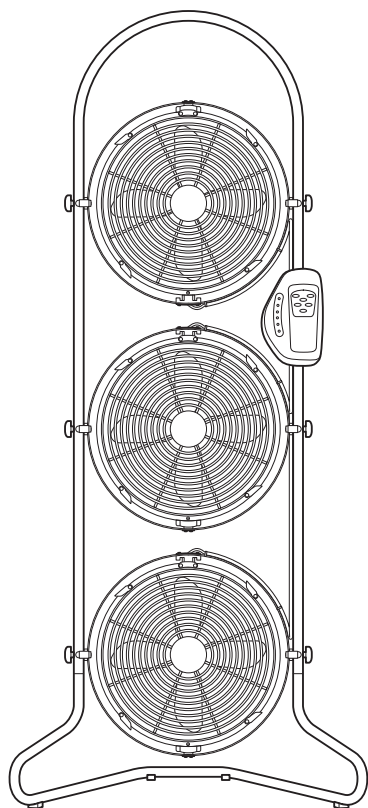


## 3 連ボックスファン RBM-2381

### 取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

※ 本機はお客様組み立て商品となっています。



#### も く じ

安全上のご注意	.....P1 ~ P2
各部の名称とはたらき	.....P3 ~ P4
組み立てかた	.....P5
正しい使いかた	.....P6 ~ P7
お手入れと保存	.....P8
修理・サービスを依頼する前に	.....P9
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	.....P10
アフターサービスについて	.....裏表紙
保証書	.....裏表紙



### 仕 様

電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	50Hz : 75W/60Hz : 63W
電源コード長さ	約 1.8 m
外形寸法	約 幅 47 × 奥行 34 × 高さ 109 cm
質 量	約 7.1kg



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。  
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

# 安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)





## 図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

# 警告

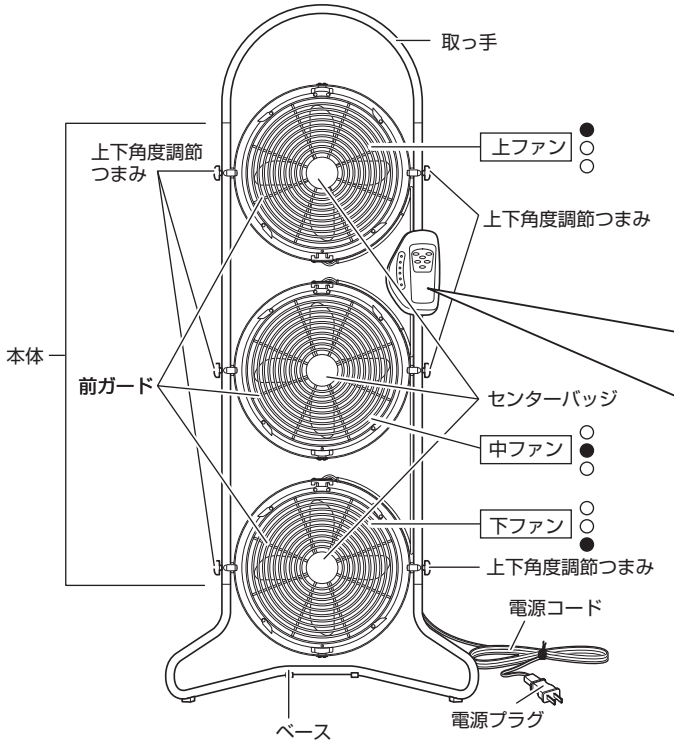
 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 禁止	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 プラグを抜く	使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	製品の組み立てや取りはずし、お手入れの際は、電源プラグを差し込まない。 感電・けが・火災の原因になります。	 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。		お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。 修理は販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
	羽根とガードを取り付けずに運転をしない。 けが・故障の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		お手入れ後や組み立ての際、羽根とガードをしっかりと固定する。 締めつけが不十分だったり、正しく組み立てられていないと、けが・故障の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。		リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。		

# ⚠ 注意

 指示	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。	 禁止	ベースを引きずらない。 床が傷つく原因になることがあります。	 禁止	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。
	リモコンの電池は⊕ ⊖を正しく入れる。 間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや破裂の原因になります。		ガードの中やモーター部に指などを入れない。 けがの原因になることがあります。		リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。 液もれなどの原因になります。
	長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。		不安定な場所で使わない。 けが・故障の原因になることがあります。		リモコンの電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない。 液もれや破裂・火災などの原因になります。
	リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。		髪をガードに近づけすぎない。 髪が巻き込まれ、けがをする恐れがあります。		
 禁止	風をからだに、長い時間続けてあてない。 健康を害することがあります。		次のようなところでは使わない。 ●レンジなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ 変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因になることがあります。		

# 各部の名称とはたらき

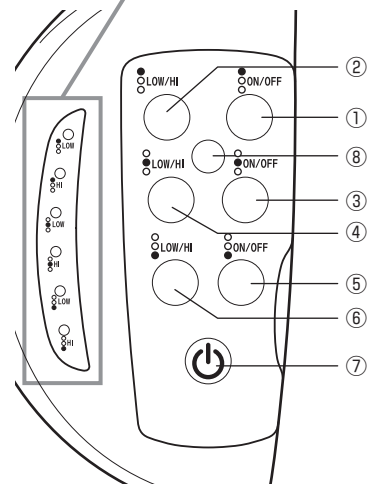
## 前面



## 本体操作部

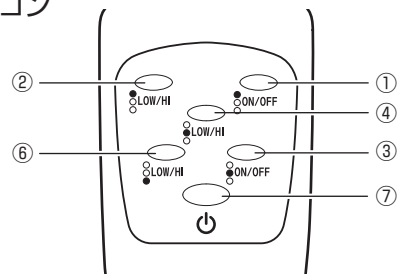
### 操作部ランプ

選択されている設定をお知らせします



- ① 上ファン運転入ON/切OFFボタン
- ② 上ファン風量切替えボタン (弱LOW/強HI)
- ③ 中ファン運転入ON/切OFFボタン
- ④ 中ファン風量切替えボタン (弱LOW/強HI)
- ⑤ 下ファン運転入ON/切OFFボタン  
※リモコンにはありません。
- ⑥ 下ファン風量切替えボタン (弱LOW/強HI)
- ⑦ 電源入/切ボタン
- ⑧ リモコン受光部

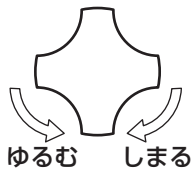
## リモコン



## 角度の調節

### 上下調節

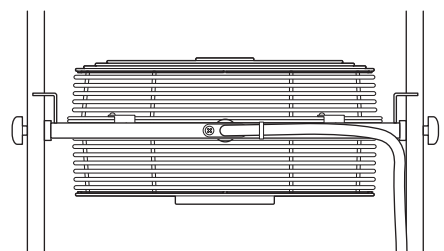
風向を上下に調節できます。それぞれのファンの左右にある上下角度調節つまみを少しゆるめてから、本体を押さえながらお好みの上下角度に調節後しめ付けてください。



※上下角度調節は、上ファンのみ真上まで調整できます。中ファン・下ファンは真上まで動きませんので、無理に動かさないでください。

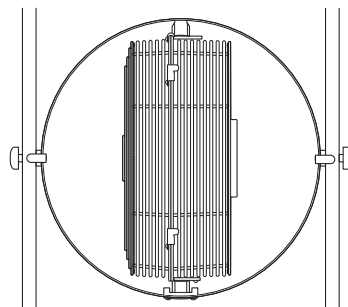


- 風向調節をする際は、手・指などを挟まないように可動部のすき間に注意する。
- 風向調節は電源を切った状態で行なう。



## 左右調節

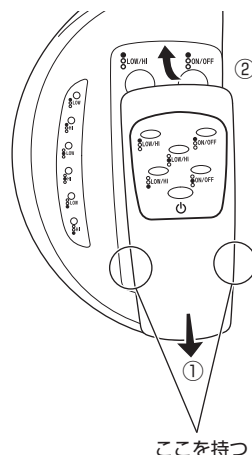
本体をしっかり押さえ左右に角度調節を行なってください。



## リモコンについて

### リモコンの取りはずし／取り付け

リモコンを本体から取りはずすときは、リモコンの下部を持って図の①のように手前に引っ張ります。取り付けるときは、図の②の方向にリモコンの上部から差し込みます。



## 電池の入れかた

下記の手順で付属の電池（コイン形リチウム電池 CR2032）を入れてください。

### 1. 電池ボックスを引き出す

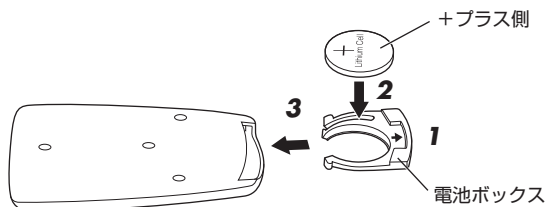
※ → (矢印) 部に指を引っ掛けて引き出せます。

### 2. +と-の向きを注意して、電池を入れる

※ +プラス側を上にして入れてください。

### 3. 電池ボックスを差しこむ

※ カチッと音がするまで押し込んでください。



## 使用可能範囲

- 本体正面から直線で約 5 m
- 本体正面から左右に約 30 度
- リモコンと本体の間に障害物がある場合は、リモコンが正常に動作しないことがあります。

### ⚠ 注意

- 電池の寿命を長くするため、長時間使わないときは電池を取りはずす。
- 電池の破裂や液もれを防ぐため、+-を正しく入れる。
- 電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- 万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れる。

# 組み立てかた

## 梱包部品一覧

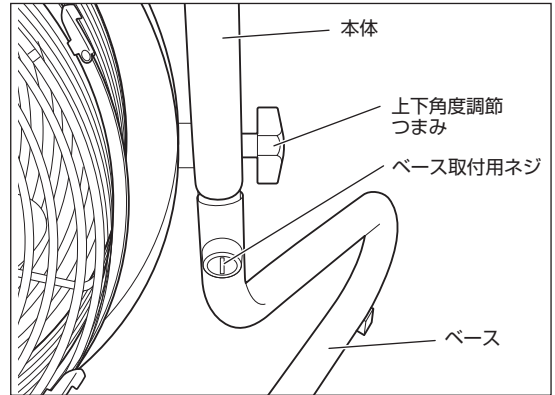
お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体.....	1 個	リモコン本体.....	1 個
取っ手.....	1 個	コイン形リチウム電池.....	1 個
ベース.....	1 個	交換用フェルト.....	6 個
取っ手取付用ネジ (取っ手に取付済).....	2 個	取扱説明書 (保証書含む).....	1 個
ベース取付用ネジ (本体に取付済).....	2 個		

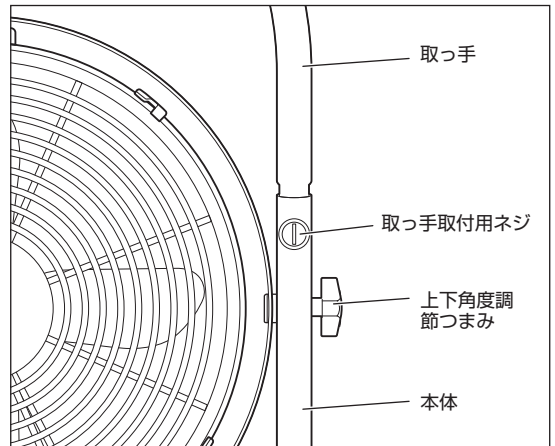
※お買い上げの際、製品の箱に入っていた包装部材は、シーズン終了後、製品を収納するときに必要ですので捨てないでください。

## 取っ手とベースの組み立て

1. ベース取付用ネジを本体より取りはずす
2. ベースに本体を差し込む  
前後を間違えないように注意してください。  
(ネジ穴のある方が後ろです。)

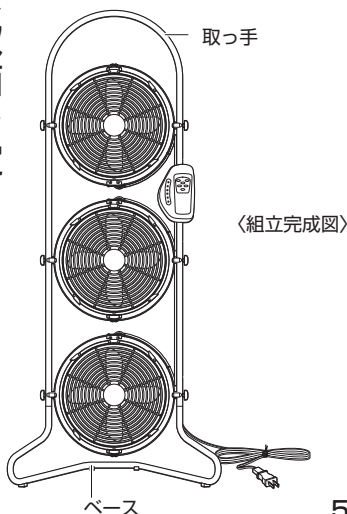


3. 本体から取りはずしたベース取付用ネジ (2箇所) でしっかりと固定する
4. 取っ手取付用ネジを取っ手から取りはずす
5. 本体に取っ手を差し込む  
前後を間違えないように注意してください。  
(ネジ穴のある方が後ろです。)



**注意** 指などを挟むとケガをする恐れがありますので、組み立ての際は軍手などをご使用ください。

6. 本体から取りはずした取っ手取付用ネジ (2箇所) で取っ手をしっかりと固定する



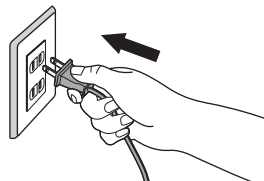
# 正しい使いかた

## 使用前の準備

### 1. 本体を安定した水平な場所に設置する

- ・本体が正しく組み立てられていることを確認してください。

### 2. 電源プラグをコンセントに差し込む



## 運転を開始／停止する

### 1. 運転を開始する

本体またはリモコンの電源入／切ボタンを押します。上ファン・中ファン・下ファンがすべて運転を開始します。

### 2. 風量を調節する

運転中に本体またはリモコンの風量切替えボタンを押します。

※設定が変更されたファンの風量ランプ(LOWまたはHI)が点灯します。

### 3. 個別に運転の停止や開始をする

運転中に本体の上ファン・中ファン・下ファン運転入ON／切OFFボタン、またはリモコンの上ファン・中ファン運転入ON／切OFFボタンを押します。上ファン・中ファン・下ファンが個別に運転を停止します。

※リモコンには下ファンの運転入ON／切OFFボタンはありません。

同じボタンを再度押すと運転を再び開始します。

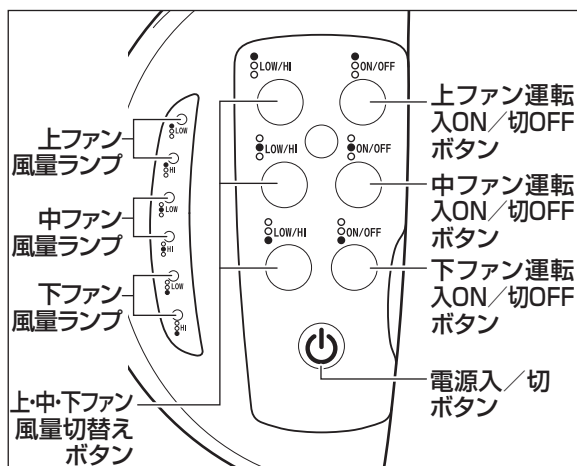
※すべてのファンを停止させると個別に再開できません。電源入／切ボタンを押してすべてのファンの運転を再び開始してください。

### 4. 運転を停止する

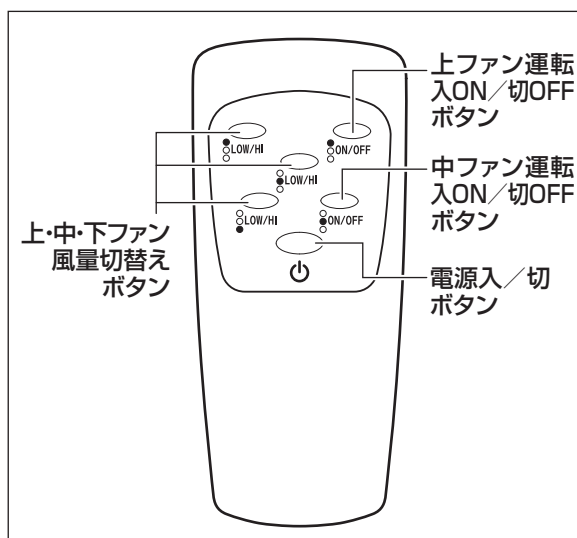
運転中に本体またはリモコンの電源入／切ボタンを押します。すべてのファンが運転を停止します。

### 5. 電源プラグをコンセントから抜く

本体操作部



リモコン



警告

使用後は電源プラグをコンセントから抜く。  
火災・故障の原因になります。

# 正しい使いかた (つづき)

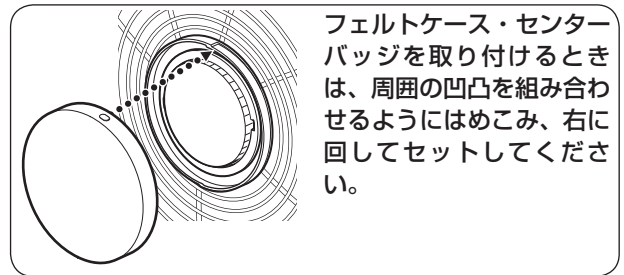
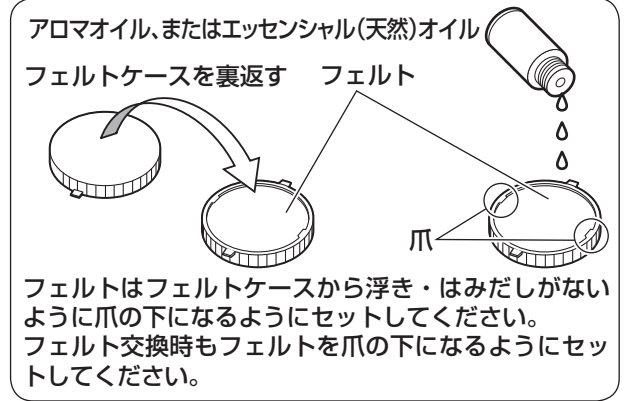
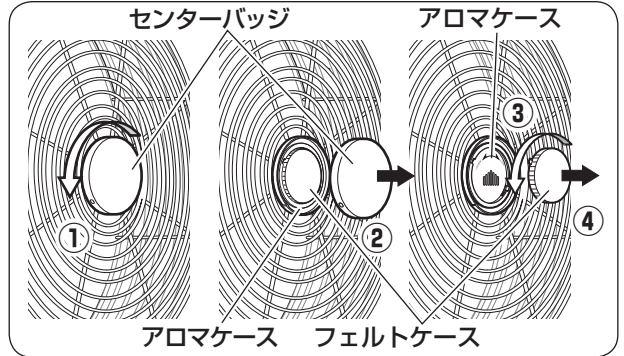
## アロマオイルの使いかた

### 1. 前ガードにセットされているセンターバッジとフェルトケースをはずす

- ①②：センターバッジを左に回して、手前に引いてはずします。  
③④：同様にアロマケース内にあるフェルトケースも左に回してはずします。

### 2. フェルトケースにセットされているフェルトにアロマオイルを染み込ませる

フェルトケースにフェルトがセットされていることを確認してください。市販のアロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルを、外側にこぼれないよう注意しながら2~3滴フェルトに染み込ませます。



## フェルトの交換

- ※ フェルトが汚れてきた場合や違う種類のアロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルを使用する場合は、フェルトを交換してください。
- ※ フェルトはご購入時にフェルトケースにセットされているもの以外に6枚付属しています。
- ※ フェルトは洗って再使用することができません。
- ※ フェルトはフェルトケースの爪の下になるように装着してください。
- ※ フェルトケースは中性洗剤などで洗い、水気をよく拭き取ってから、手順2~3に従ってセットしてください。
- ※ 交換用のフェルト AF-ZE1 は別売しています。4枚セット 500円(税別) お買上げの販売店またはドウシシャお客様相談室へお問い合わせください。

### 注意

- アロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルをフェルトケースからあふれるまで入れすぎない。
- アロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルがフェルトケースの外側に付着した場合は必ず拭き取る。
- フェルトケースの外側にアロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルが付着した状態でアロマケースにセットしない。
- 本製品専用のフェルト以外は使用しない。

### 3. フェルトケースをアロマケースに取り付け、センターバッジを取り付ける

手順1と逆の順番で取り付けます。周囲の凹凸に合わせてはめこみ、右に回してセットします。

### 4. 運転を開始する

6ページの「運転を開始/停止する」の手順に従い運転を開始してください。アロマの香りを含んだ風をお楽しみいただけます。

### アロマオイル・エッセンシャル(天然)オイルなどについて

- 炎に近づけないでください。
- 子供の手の届かない場所に保存してください。
- 衣服などに付着した場合は、大量の水で洗い流した後、自然乾燥させてください。乾燥機は使用しないでください。発火する恐れがあります。
- 手に付着したときは、直ちに手を洗ってください。
- 取り扱いについては、アロマオイル・エッセンシャル(天然)オイルに付属の取扱説明書をご覧ください。



# お手入れと保存



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。  
感電・火災・けがの原因になります。

## お願い

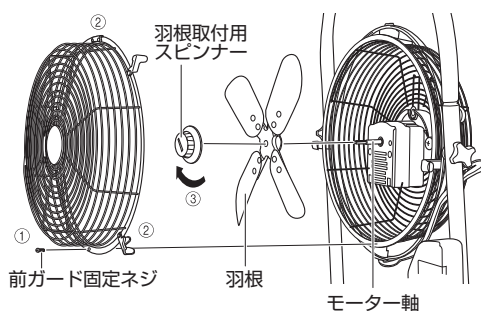
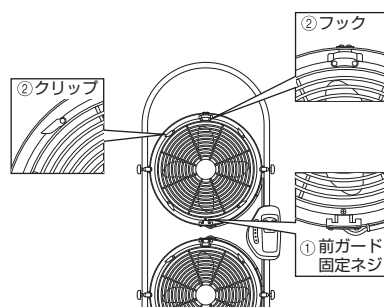
- ・住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- ・本体に水をかけて洗わないでください。(感電・故障の原因になります。)

## 本体のお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤に浸して、かたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)

## 羽根のお手入れ

- ① 前ガード下部の中央に付いている前ガード固定ネジをプラスドライバーで左に回してはずしてください。
- ② 4ヶ所あるクリップをすべてはずし、前ガード上部のフックをはずしてください。
- ③ 羽根を押さえ、羽根取付用スピナーを右に回してモーター軸から取りはずし、羽根を手前に引っ張るようにしてははずしてください。
- ④ 羽根の汚れは柔らかい乾いた布でやさしくからぶきしてください。
- ⑤ 前ガードおよび羽根の取り付けかたは、上記の手順を逆に行ないます。



- ・羽根やガードを取り付けずに運転しない。
- ・羽根のエッジなど鋭利な部分に触れない。けがの原因になります。
- ・ガードや羽根をしっかり固定してから電源プラグを差し込む。感電・けがの原因になります。

## 保存のしかた

- ・お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ・ポリ袋などをかぶせ、湿気のない場所に保存してください。
- ・お買い上げの商品が入っていた箱に入れて保存する場合は、5ページ「組み立てかた」と逆の手順で分解してください。

# 修理・サービスを依頼する前に

**⚠警告** 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
羽根がまわらない	・電源プラグが抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む
リモコンで操作できない	・リモコンの電池が切れている	新しい電池に交換する
	・コイン形リチウム電池が逆に入っている	コイン形リチウム電池を正しく入れる（4ページ「リモコンについて」参照）

## 長年ご使用の扇風機はよく点検を

### このような症状はありませんか？


- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

# 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

## (本体への表示内容)

※経年劣化により発火・けが等の事故の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

	[製造年] (本体に西暦4桁で表示してあります) [設計上の標準使用期間] (本体に表示してあります)
	設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

## (設計上の標準使用期間とは)

※下表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

## ■ 標準使用条件 (JIS C9921-1による)

環境条件	電圧	AC 100V	製品の取扱説明書による
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	
負荷条件		定格負荷(風速)	
規定時間 など	運転時間	8h/日	
	運転回数	5回/日	
	運転日数	110日/年	
	スイッチ操作回数	550回/年	

### ●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。